

【加美町】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～」を実現するため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、本町の教育構想「12年間の連続した学びの加美町モデル」の重点施策に「確かな学力」を掲げ、学ぶ力の向上を目指した個別最適な学びと協働的な学びの推進、ICT活用の充実を図り、児童生徒の資質・能力の育成を目指す。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度に1人1台端末整備及び各学校のネットワーク環境整備を行い、GIGA スクールサポーターの配置や学習支援ソフトの導入により、教職員の負担軽減及び個別最適な学びの実現に努めた。また、Web フィルタリングソフトを導入し、1人1台端末の家庭への持ち帰り時におけるセキュリティの確保や端末の利活用が可能となった。

ICT の活用について、当初は各学校間で差が生じていたが、ICT 活用に係る研修や、各学校において情報化推進リーダーを配置することにより、ICT の積極的な活用が進んだ。しかし、教職員の ICT 活用指導力における個人差が解消できていないため、引き続き研修の実施や授業実践例の提示により、教職員の ICT 活用指導力の平準化を図る。

3. 1人1台端末の利活用方策

令和2年度に整備した端末は、導入後4年が経過し、バッテリー損耗が激しく、授業での活用に支障が出かねないため、令和7年度に児童生徒・教職員用の端末及び予備機の購入を行う。1人1台端末の環境を引き続き維持し、児童生徒の学びを止めることなく学習できる環境の構築に努め、以下を踏まえた活用を推進する。

(1) 1人1台端末の積極的活用

ICT 活用に係る研修を実施し、教職員が ICT を活用することによるメリットを享受することができるよう促す。また、教職員へ効果的な活用についての情報共有を図る。

(2) 個別最適・協働的な学びの充実

児童生徒が自ら学び、考え、表現する場面において、積極的に1人1台端末を活用できるような環境づくりを行う。さらに児童生徒の個性に応じた学びを進

めるために、自由進度学習について、リーディング DX 指定校等の先進的な取組も参考にしながら、各学校において研究が深まるように努める。

（３）学びの保障

オンライン授業の実施等 1 人 1 台端末を活用することにより、学びの幅を広げ、さまざまな状況の児童生徒に学習機会を確保していく。また、不登校児童生徒や特別な支援を要する児童生徒等に対し、実態に応じて端末を活用した支援を検討する。